

大阪市港区 認知症ガイドブック (ケアパス)



認知症ケアパスとは…

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、認知症の状態に応じたサービスや社会資源を紹介するものです。

ご自分やご家族、ご近所の方が認知症になったとき、状態にあわせて、いつ、どこでどのような医療・介護サービスを受けることができるのかを示したものです。

令和3年3月発行

発行者：大阪市港区認知症連絡会

港区医師会・港区在宅医療・介護連携相談支援室

港区役所保健福祉センター

港区地域包括支援センター・港区南部地域包括支援センター

港南ブランチ・市岡東ブランチ・築港ブランチ・みなとオレンジチーム

自分でできる認知症の気づきチェック

- 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなる
- 5分前に聞いた話を思い出せないことがある
- 周りの人から、「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされる
- 今日が何月何日かわからないときがある
- 話そうとする言葉が、すぐに出てこないことがある
- 貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いがむずかしい
- 一人で買い物に行って、必要なものを買うことがむずかしい
- バスや電車、自家用車などを使って一人で外出することがむずかしい
- 自分で掃除機やほうきを使って掃除をすることがむずかしい
- 電話番号を調べて、電話をかけることができない

出典：東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課「知って安心認知症」（一部を改変して記載）

早期発見・早期対応が大切です

① 認知症と思われる症状がみられても、別の病気の可能性もあります。

他の病気が発症している場合や、服用中の薬の副作用により認知症に似た症状がでる場合もあります。診断、検査、治療を受けることにより症状が改善する場合があります

② 認知症の診断を受け、認知症のタイプに応じた薬の服用

認知症には原因となる病気によっていろいろな種類があります。根本的な治療法はありませんが、認知症のタイプの診断を受け、適切な薬を服用することにより、症状の進行を遅らせる可能性があります。



《アルツハイマー型認知症》

もの忘れの症状から気付かれることが多くあります。

《脳血管性認知症》

脳梗塞や脳出血によって起こる。発作の再発を防ぐためのお薬を服用し、生活習慣の改善をはかります。

《前頭側頭型認知症》



もの忘れは目立たず、自分の感情をおさえられない症状がみられることがあります。

《レビー小体型認知症》

実際にはいない人が見えたり（幻視）、眠っている間にどなり声をあげるなどの症状がみられることがあります。手足の震えや動作が鈍くなるなどパーキンソン症状が伴うことも多く、転倒には十分注意が必要です。症状が変動しやすい特徴があります。お薬が効きやすい、副作用がやすいなどの特徴もあります。

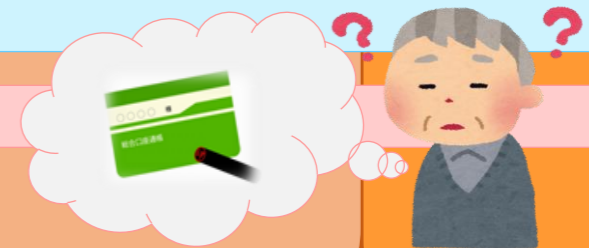
③ 自分で決めることができる

自分で判断ができたり、気持ちを伝えられるうちに、今後の生活に必要な準備をすることができます。治療や介護サービスについて、自分の気持ちを伝えて、決めることができます。

	加齢による変化（健康）	物忘れが多くなる	誰かの見守りが必要（軽度）	日常生活に手伝いが必要（中等度）	常に手伝いが必要（重度）
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・疲れやすくなる ・筋力が低下する ・食が細くなる ・人の名前が出にくい ・眠りが浅くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じことを何度も聞く ・物の置き場所がわからなくなる。 ・整理整頓ができない ・約束の日時を間違える ・新しいことが覚えられない 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の管理が苦手になる ・調理の仕方がわからなくなる ・同じものを何回も買う ・薬を飲み忘れる ・テレビやクーラーのリモコンが使えない ・季節に応じた服が選べない 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出先から家に戻れない ・日付や時間、季節がわからなくなる ・洋服の着方がわからなくなる ・入浴・トイレがうまくできなくなる ・人の話す内容が理解できにくくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や人の認識がむずかしくなる ・表情が乏しくなり、反応が鈍くなる ・食事や着替え、トイレなど日常生活に常に介助が必要になる ・会話や意思疎通ができなくなる ・歩行が困難になる
本人の気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れが気になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・やる気がでない、気分が沈む ・認知症かもしれないと不安を感じるが、認めたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・失敗するのが不安で、人前にでるのが怖い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や支援する人がいないと不安になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で自分の気持ちが伝えられない
家族や周囲の人の対応のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症について正しく理解しましょう ・認知症を予防するために、規則正しい食事や毎日の運動・社会活動への参加をすすめましょう ・地域の見守りコーディネーターと知り合い、地域のふれあい喫茶や 		<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービスや家族介護教室などを利用しましょう ・話に共感して、受け入れましょう ・できない事があっても、責めるような言い方はひかえましょう ・ご本人が不安な様子であれば、話を聴き、サポートしましょう ・地域の見守りコーディネーターや、見守りサポーターに、日頃から相談しましょう 		<ul style="list-style-type: none"> ・見守り相談室に相談し、外出時に名前や連絡先がわかるシールを受け取り、衣服などに貼付しましょう ・介護保険サービス等を利用し、介護する家族が自分自身の健康と生活を大切にするため休息の機会を設けましょう ・本人が、自分らしい生活を続けられるよう、この先の生活について家族で話し合いましょう ・体調が変化しやすいので、身体の状態（水分・食事・排泄・睡眠・発熱）に注意しましょう 

予防する	ボランティア活動 100歳体操 ふれあい喫茶 食事サービス いきいきサロン 地域活動 老人クラブ 老人福祉センター				
医療機関	かかりつけ医		認知症サポート医 もの忘れ外来診療所 認知症疾患医療センター		訪問診療 在宅医療
訪問医療	訪問看護 訪問薬剤師（かかりつけ薬局） 訪問診療 訪問歯科診療				
相談する	地域見守りコーディネーター 港区役所保健福祉課 地域包括支援センター ブランチ みなとオレンジチーム 見守り相談室（港区社会福祉協議会内）				
介護保険について知る	介護保険申請の相談 介護認定の取得 介護保険サービスの利用 家族介護負担の軽減 介護予防・生活支援総合事業 介護予防サービス 介護保険サービス（ケアマネジャー）				
日常生活支援	民生委員 港区社会福祉協議会 見守り相談室 港区障がい者基幹相談支援センター 見守りコーディネーター 港警察 港消防署 配食サービス 暮らしのサポートコーナー				
権利を守る	あんしんサポート事業（日常生活自立支援事業）		成年後見制度		
施設を知る	有料老人ホーム 経費老人ホーム（ケアハウス） 養護老人ホーム サービス付き高齢者住宅		グループホーム 介護老人保健施設 介護付き有料老人ホーム 特別養護老人ホーム 療養型病棟 包括ケア病棟		

認知症の人を支援する体制など



認知症サポート医

認知症サポート医とは、認知症にかかわる地域の中核的な役割を担う医師です。

「最近物忘れが多くなって…」 「お薬の管理が難しくなってきた…」 「これって認知症かな？」
 そのような心配が少しでもある方は、かかりつけ医や認知症サポート医の先生にご相談しましょう。
 認知症は早期発見と早期治療が大切です。

◆たかせクリニック
 (脳神経外科・内科)
 ☎ 06-4393-9988
 波除3-9-14ホッポM1階

◆土田クリニック
 (内科・婦人科)
 ☎ 06-6571-2678
 三先2-12-14



◆香山医院
 (外科・内科・消化器内科
 肛門外科・リハビリテーション科)
 ☎ 06-6573-3000
 弁天4-15-14

◆山田医院
 (内科・消化器科)
 ☎ 06-6571-3501
 市岡2-12-20

認知症疾患医療センター

認知症鑑別診断をはじめ認知症に関する専門医療相談を行っています。
 受診に際しては、かかりつけ医に相談し、できるだけ紹介状を持参しましょう。

大阪市が指定する認知症疾患医療センター

地域型	◆大阪市立弘済院附属病院	吹田市	☎ 06-6871-8073
	◆ほくとクリニック病院	大正区	☎ 06-6554-9707
	◆大阪市立大学医学部附属病院	阿倍野区	☎ 06-6645-2896
連携型	◆咲く花診療所	淀川区	☎ 06-6301-0377
	◆大阪府済生会野江病院	城東区	☎ 06-6932-0401
	◆葛本医院	東住吉区	☎ 06-6719-0929

みなとオレンジチーム (認知症初期集中支援チーム)

ご本人の状況や状態に応じた医療や介護サービスにつなげ、住み慣れた地域で暮らし続けられるようお手伝いします。「認知症かな？」と感じたときや、どこに相談すればよいか分からないときなどお気軽にご相談ください。

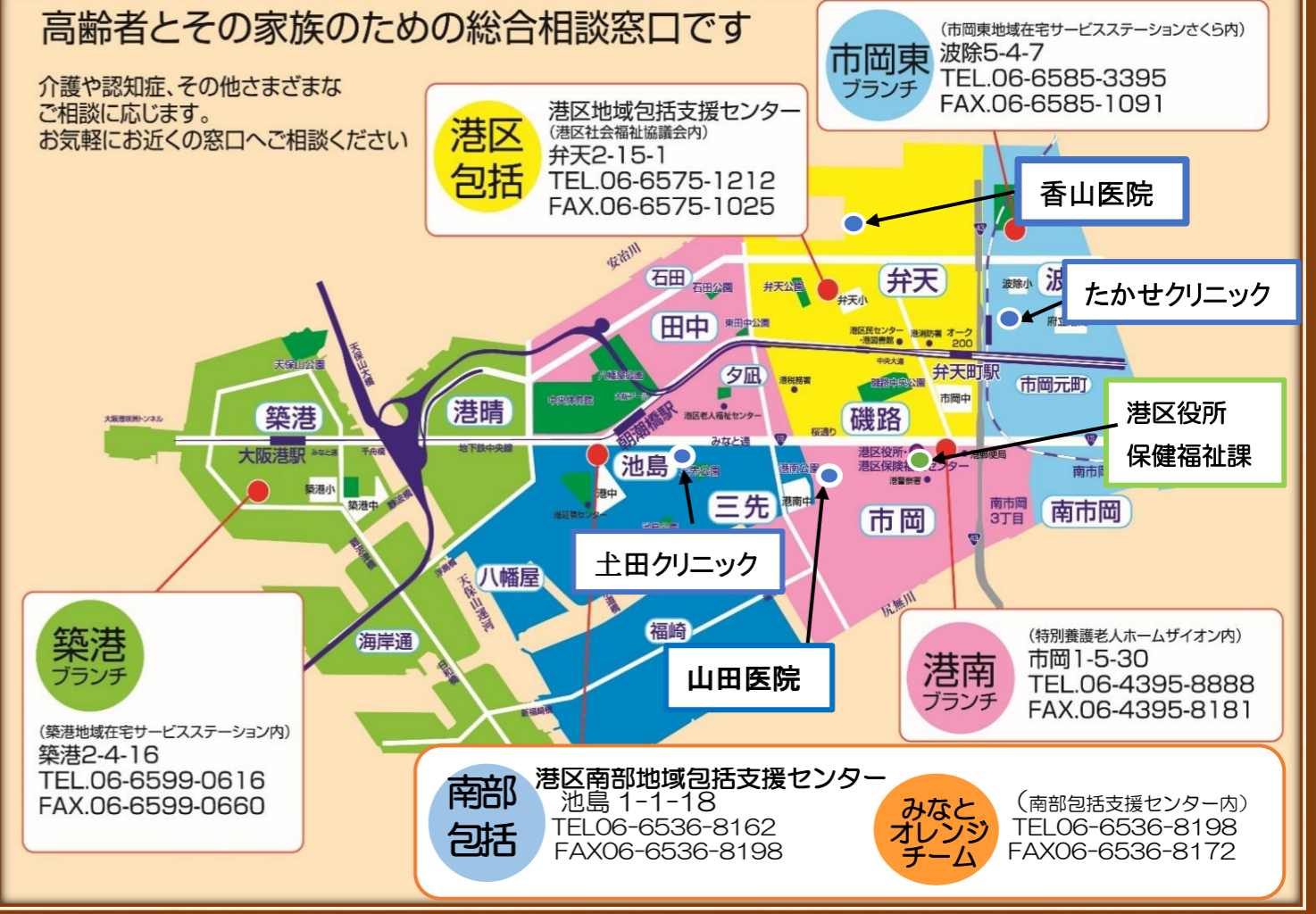
*若年性認知症(18歳~64歳)の方のご相談も受けております。

※対象となる方：区内在住の40歳以上の方で、認知症の診断を受けていない方、または医療サービスを受けていない、受診が中断している方、介護サービスを利用していない方

◆みなとオレンジチーム(港区南部地域包括支援センター内) 〒552-0015 池島1-1-18
 【担当地域 港区全域】 ☎ 06-6536-8198

高齢者とその家族のための総合相談窓口です

介護や認知症、その他さまざまなご相談に応じます。
 お気軽にお近くの窓口へご相談ください



地域包括支援センター・総合相談窓口(フランチ)

高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、専門の職員がさまざまな関係機関と協力しながら、高齢者の方々を支援します。
 お住いの地域により担当の窓口が異なります。より身近な総合相談窓口として、地域包括支援センターの役割の一部を担うフランチがあります。

地域包括	◆港区地域包括支援センター(ひまわり) 〒552-0007 弁天2-15-1 【担当地域(小学校区)】市岡・弁天・波除・南市岡・磯路・田中 ☎ 06-6575-1212
	◆港区南部地域包括支援センター 〒552-0015 池島1-1-18 【担当地域(小学校区)】三先・池島・八幡屋・港晴・築港 ☎ 06-6536-8162
フランチ	◆港南フランチ(ザイオン) 〒552-0012 市岡1-5-30 【担当地域】南市岡3丁目・市岡・夕凧・田中・石田 ☎ 06-6599-7272
	◆市岡東フランチ(さくら) 〒552-0001 波除5-4-7 【担当地域】波除・市岡元町・南市岡1丁目・南市岡2丁目 ☎ 06-6585-3395
	◆築港フランチ(築港地域在宅サービスステーション) 〒552-0021 築港2-4-16 【担当地域】港晴・築港・海岸通 ☎ 06-6599-0616